

墨田区 職員採用案内



墨田区採用ホームページ



～墨田区公式SNS～

X (旧 Twitter)



Facebook



instagram



YouTube



LINE



墨田区総務部職員課人事担当
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
TEL 03-5608-6244
MAIL SYOKUIN@city.sumida.lg.jp



墨田区長 山本 亨から皆さんへ

墨田区の未来を創造していく上で、区職員は重要な役割を担う存在です。区民の皆さんの声を聞き、同じ目線に立ってその期待に応えていくためには、日頃から前向きな意識を持ち、自ら考え行動する力、そしてチームで仕事を進め、解決していく力が求められます。さらに、区職員としての誇りを持ち「できない理由」ではなく、「できるためにはどうすればよいか」を考えられる人を理想の職員像としています。

今日、区政の課題は多様化・複雑化していることに加え、社会のあり方や価値観にも変化が見られます。「区民のために」を合言葉に、将来にわたって持続可能なまちを創っていくために、皆さんの想像力や行動力、そしてチャレンジ精神をぜひ本区で発揮してください。

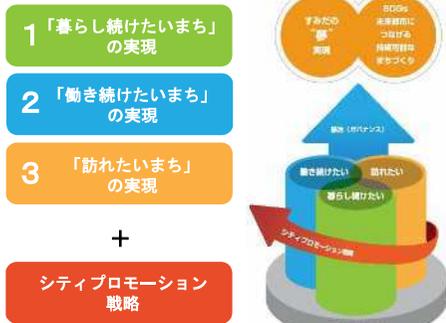
一緒に素晴らしい“すみだ”の未来を創りましょう！



墨田区基本計画(後期) 2022(令和4)年度～2025(令和7)年度

夢実現プロジェクトの推進

夢実現プロジェクトとは、「すみだの夢」(すみだで暮らす人、働く人、訪れる人の夢や希望がかなえられている状態)の実現に向け、基本計画全体をけん引するプロジェクトのことです。このプロジェクトは右記の3つのプロジェクト事業と、これらの事業をさらに発展させていくための「シティプロモーション戦略」で構成されています。区民や事業者、地域で活躍する様々な団体等と行政が「すみだの夢」を共有し、力を合わせ、それぞれの役割を果たすことにより、その実現をめざしていきます。



基本計画(後期)の新しい2つの視点



墨田区基本計画

- SDGs(持続可能な開発目標)
SDGsで掲げる17の目標に、区の施策と事業をそれぞれ結び付け、地域と地域の抱える課題が関連していることを区民や企業・事業者と共有し、区政を推進することでSDGsの達成につなげていきます。
- 「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」の推進
ICT(情報通信技術)とデータを活用した、利便性の高い区民サービスの提供と効率的な区政運営をめざしていきます。



・基本計画の本編はコチラ

墨田区の魅力は、ダイバーシティ

皆さんご存知の東京スカイツリー®がそびえ立つイメージが強い墨田区ですが、自然に親しむ公園や、アートや歴史を楽しむ施設、下町らしい商店街など、いろんな魅力が詰まった墨田区をエリアごとにご紹介します。

職員から一言!
狭い路地が多いので、散策するなら自転車がおすすめ! 白旗防災団地は丘巻の光景!

鐘ヶ淵・向島エリア
墨堤の桜に代表される隅田川沿いのんびり楽しめるスポット。江戸時代からの花園として有名な向島百花園では、四季折々の花に出会えます。狭い路地が網の目のようにのびる向島地区は、アートの発信地としても注目を浴びています。

八広・京島エリア
入っただけで入り組んだ迷路のような街並みが特徴的なこのエリアは、「町工場と昭和レトロが残るまち」。下町情緒を感じさせる路地裏には製造業などを営む工場も多く、昔懐かしい雰囲気の魅力です。大正から昭和初期にかけての長屋が今も残っているため、下町らしい商店街を楽しむことができます。

吾妻橋・押上エリア
多くの観光客で盛り上がっている東京スカイツリー®の足元で、国際的な観光名所となっています。一方で、昔ながらのお店や雰囲気も残る「新旧文化が融合したまち」。リバーサイドの東武鉄道高架下にある商業施設「東京ミズマチ」は活気あふれています!

YAHIRO & KYOJIMA AREA
キラキラ橋商店街は、2021東京商店街グランプリ最優秀賞を受賞しました!
職員から一言!

墨田 AREA MAP

行舎の周りには、東京ミズマチを始め飲食店がたくさんあるから、お洒落なランチが楽しめる!
職員から一言!

両国エリア
すみだ北斎美術館、両国国技館をはじめ、歴史を感じられる場所が、数多く残っており、江戸時代から続く伝統文化を楽しむことができます。また、江戸の伝統グルメ・ちゃんこ料理も有名です!

川沿いに広がる大横川親水公園を巡ると、緑を感じることができて、気分がリフレッシュ!
職員から一言!

職種紹介

すみだのまちづくりを支えるために様々な分野の仕事に取り組んでいます。

事務職

区民部 税務課
平成31年度採用



現在の仕事内容は？

軽自動車税の事務を担当しています。主な仕事として、軽自動車税の賦課・収納に関すること及び排気量125cc以下の原動機付自転車等の標識交付に関する事務を行っています。また、最近では手続のオンライン化の流れに伴い、軽自動車税事務の各種オンライン手続の対応を行っています。

仕事をする上で大切にしていることは？

優先順位を考え、計画的に仕事を行うことです。現在の業務は年間を通して大まかなスケジュールが決まっているため、事務の進捗状況を管理し、計画的に事務処理を行うことを意識しています。

また、業務の進捗状況を担当内で共有することを大切に、円滑に業務を行うことができるように心がけています。その結果、急な仕事があった際にも柔軟に対応ができます。

職場の雰囲気は？

同じ税金を扱う仕事でも多種多様な業務があるため、日々様々なことを学ぶことができると感じています。日常業務として窓口業務があるため、職員同士がお互いに協力し、助け合いながら仕事をしています。また、庁内でも同年代の職員が多い職場であることや、上司にも相談しやすい環境のため、職場内でコミュニケーションがとりやすく働きやすい職場だと感じています。



事務職

都市計画部危機管理担当 防災課
平成28年度採用



現在の仕事内容は？

区の防災事業に携わっています。町会や学校の防災訓練の際に防災講話や起震車の運行を行い、区民の方に災害に関する知識や日頃の備えの大切さをお伝えしています。また、災害発生時には区職員は災害対策本部として区内の対応にあたることになるので、区職員の災害対応力向上のため、庁内の各部署と連携して職員向けの訓練を実施しています。

入庁前のイメージとのギャップは？

入庁前は事務職の多い税金や福祉の部署に配属されることをイメージしていましたが、最初に配属されたのは保健師や歯科衛生士等の専門職が多数いる部署でした。正直想像していなかった分野に配属されて驚きました。しかし、専門職の職員と連携しながら、事業の企画や関連部署との調整等様々な仕事をする中で、事務職の仕事のフィールドは本当に幅広く、やりがいのある職種だと思いました。

職場の雰囲気は？

区民の方への説明や庁内各部署との調整等、業務の幅が広く、忙しい時期もありますが、仕事とプライベートのメリハリをつけて取り組んでいます。分からないことがあった際には、職員同士相談して意見を出し合い、助け合って仕事に取り組んでいます。

また、東京消防庁からの派遣職員、自衛隊や民間企業の経験者も在席し、それぞれの経験談を聞くことができ、興味深いです。



事務職

産業観光部 経営支援課
令和3年度採用



現在の仕事内容は？

区内の中小企業を対象とした融資制度の相談及び紹介書の発行、企業の持続的な発展の支援を目的とした補助金業務を担当しています。相談の内容は幅広く、その内容をよく理解した上で適切な案内ができる知識が必要です。そのため、職場内での情報共有や関係機関との連携により、常に様々な情報を把握できるよう努めています。

現在の仕事のやりがいや魅力は？

基本的に1人で行う仕事は少なく、窓口で区内事業者の方や関係機関の方と直接お会いして受け答えする機会が多くあります。その際、事業に対するご意見やご要望をいただくことが多く、理解を得ながら進めていく大変さがあります。しかし、多くの方との「つながり」を持てるのがこの仕事の魅力であり、手続を進めしていく中で感謝の言葉をいただけた時にはとてもやりがいを感じます。

仕事をする上で大切にしていることは？

分からないことや悩み事は抱え込まずに相談をすることです。少しでも分からないことがあれば、同僚・上司に相談した上で対応することを意識しています。悩んだままで対応をしてしまうと結果的に区民や事業者の方に迷惑をかけてしまうことになります。仕事に慣れてきた時ほどより意識をするように心がけています。また、今の体調や仕事の状況（優先順位等）を把握し、その時の最大限のパフォーマンスを出せるよう自分自身と向き合う時間も大切にしています。



保健師

向島保健センター
平成31年度採用



現在の仕事内容は？

保健サービスを行っており、区民の方の健康支援が主な仕事です。妊娠出産や育児、病気を抱えている日常生活等、人々が生きている中で迎える健康面のライフイベントと一緒に考えさせてもらい支援をしていきます。個人で健康相談等に対応することもあれば、両親学級や健診運営、講演会企画等チームで動くこともあります。

仕事をする上で大切にしていることは？

対話することです。より良い保健サービスの提供を常に考えており、その答えが出るのは対話の中です。区民の方と一緒に仕事をするチームメンバーと多く話することで、サービス提供の方法や、やりたいことの発見があります。そうして沢山の意見交換が行われてきたものは、区民の方に還元させてもらった時に良い反応であることが多く、特に「ありがとう。」とお礼を言われた時にはこの仕事をやっていて良かったと感じます。

職場の雰囲気は？

職員全体が良い保健サービスを提供しようと動いているので、目標が明確で働きやすいです。自分の役割を示してもらえ、時には課題や悩みを相談すると、立場の上下を問わず一緒に考えてくれます。そして、職員の心身の健康も大切に考えられていて、休暇も取りやすいです。入庁1年目は、指導者が丁寧に教えてくれて、メンターからは優しくフォローが入ります。それぞれ自分の専任でついてもらったのがとても良かったと感じています。（メンター制度については、7ページ参照。）



職種紹介

土木職

都市整備部 道路公園課
令和3年度採用



現在の仕事内容は？

公園整備に係る計画や調整を担当しています。地域や時代のニーズに合わせた区内全域の公園計画、各公園の新設再整備計画、整備後の円滑な運用計画等を行っています。多くの人を巻き込んで生まれたアイデアや自らの思いが、目に見える形で整備され、利用する方々の笑顔が見られたとき、最高の達成感を得られる醍醐味があります。

仕事をする上で大切にしていることは？

何事も「楽しむ」ことです。人は、寝る時間や食事の時間を除いた人生の1/3以上は、労働時間に費やしていると思います。その人生の大半を楽しむことなしに過ごすことほど、もったいないことはないです。そう思うと、自然に何事も全力投球しなければ損している気分になります。時間の使い方においても誰かが楽しんでいる姿をイメージして働いた方が、得られる成果や喜びが大きく、自身のスキルアップや成長に繋がると考えています。

職場の雰囲気は？

民間企業に近い柔軟性があると感じています。私は、これまでのキャリアで民間企業と地方公務員を経験しました。民間企業は特色を出しやすくスピード感がある一方、公務員は正確性が重視される反面、特色が出しにくいイメージがありました。しかし、墨田区は多様な人材が集まっているため、個性的なアイデアや柔軟な発想が生まれやすい環境だと思いました。私は、働く中でその感覚を活かせる職場だと感じています。



建築職

都市計画部 建築指導課
平成29年度採用



現在の仕事内容は？

建築確認申請の審査や違反建築物への指導、建築行為に係る紛争の対応をしています。各種法令を確認しながら正しい設計内容になっているか図面を審査したり、完了検査の立会いをするほか、近隣住民と建築主との間に生じたトラブル解決の手助けをしたりすることで、安心で安全なまちづくりを目指しています。

仕事をする上で大切にしていることは？

相手の話をしっかりと聞くことです。区へ相談をする人は、それぞれ異なる事情や不安を抱えています。話を聞いてほしい人や解決策を教えてほしい人等、相手が何を望んで相談しているのかを考えて適切に対応することが重要だと考えています。また、正しい対応を見極めることが難しい場合には、同僚や上司に積極的に情報共有や相談をし、組織として一貫した対応をするよう心がけています。

職場の雰囲気は？

明るく、アットホームな雰囲気です。真面目に仕事をしながらも、時折談笑を交えつつ、和やかなムードで業務に取り組んでいます。分からないことがあれば優しく丁寧に教えてもらえますし、特に建築職は関係部署の多くが同じフロアに集まっていることもあり、所属に関係なく様々な先輩職員が積極的に相談に乗ってくれるので、初めての業務でも一人で悩みを抱えてしまうことなく働くことができます。



福祉職

福祉保健部 生活福祉課
令和3年度採用



現在の仕事内容は？

生活保護のケースワーク業務を担当しています。担当地区に住む被保護者に生活保護費を支給するだけでなく、家庭訪問や電話連絡を通して生活状況の把握に努め、日常生活で抱える課題に対し必要な支援を行います。被保護者は様々な課題を抱えているため、関係機関とも情報を共有することできめ細やかな支援を行うことができるよう心がけています。

現在の仕事のやりがいや魅力は？

チームワークの良さが魅力です。墨田区には、ケースワーク経験の豊かな先輩職員が多くいます。支援方針等で悩むときには先輩職員や上司と話し合い、一緒に良い解決策を考え抜きます。

時には緊急性が高い案件や迅速な対応が求められる案件も発生しますが、被保護者から感謝の言葉をかけてもらったとき、信頼関係を築くことができたときには、とてもやりがいを感じます。

仕事をする上で大切にしていることは？

ケースワーカーは被保護者だけでなく親族や関係機関等、多くの人との関わりが絶えない仕事です。そのため、誰でも分かりやすい話し方や傾聴する姿勢を大切にしています。また、被保護者の支援のためには関係機関との連携や被保護者の現状を把握することが重要です。そのため、被保護者への円滑な支援に結びつくよう情報提供や連携をしっかりと行えるように意識しています。



保育士

寺島保育園
令和3年度採用



現在の仕事内容は？

4歳児クラスの担任をしています。毎日子どもたちと元氣いっぱい走り回ったり、ごっこ遊びをしたりします。基本的な生活習慣を身につけながら、心身の発達と社会性を養うための個別支援を行い、何よりも子ども主体の保育を大切にしています。また、日誌や保護者に伝える掲示の作成、より良い保育の為に会議も行います。

仕事のやりがいや魅力は？

子どもたちと過ごす1日1日が、とても大切に思える仕事です。子どもの成長を一番近くで見ることができ、「こんなことも出来るようになった」と毎日の感動を、保護者の方々と一緒に喜び合うことができます。

子どもの命を預かる責任のある職務ですが、大好きな子どもたちの笑顔にパワーをもらいながら保育士としても人としても成長できるのは、最高の魅力の一つです。

墨田区で働く魅力は？

商店街の中にある保育園に勤めていますが、散歩に出かけるときは必ず地域の方々から「いってらっしゃい。」「おかえり。」と笑顔で声をかけてくれる温かな雰囲気があります。園行事の夏祭りや保育園周辺をお神輿練り歩きた際には、地域の方々も手作りうちわにはっぴを着て盛り上げてくれました。こうした経験を通じて、子どもたちの成長と一緒に成長して見守ってくれる近隣の方々、そしてこの墨田区が大好きになり、何よりも魅力だと感じています。



メンター制度

メンティー
新人職員 × メンター
先輩職員

墨田区では、新人職員がスムーズに職場に溶け込めるように、気軽な相談・助言役である先輩職員を配置する**メンター制度**を実施しています。
そこで、**メンティー**（新人職員）と**メンター**（先輩職員）にお話を聞いてみました。

お二人の担当業務を教えてください。

メンター：全庁的なネットワーク及び業務用パソコン等の情報機器の維持・管理を主に行っています。各課におけるシステム導入等に関する相談対応も多く、墨田区のICTを陰で支えています。

メンティー：手続のオンライン化支援やシステムに関する操作説明会の運営等、庁内のDXを推進する仕事をしています。最近ではワーキングチームで生成AIに関する行政利用を検討する等、新しいことにも挑戦しています。

入庁時に不安だったことはありますか？

メンティー：大学の専攻分野とは異なる部署へ配属になったので、仕事についていけないか不安でした。ですが、先輩職員の皆さんが「分からないことを聞きやすい環境」を作ってくれたおかげで、知識を深めながら前向きに仕事へ取り組むことができています。

メンター：やっぱり最初は不安だね。でも、打合せでも積極的に発言していて、新しい視点を与えてくれるから、先輩としても勉強になることが多いです。

メンティー：あと、入庁と同時に一人暮らしを始めたので、心細さもありませんでしたが、いつも優しくお話を聞いてくれるので、とても助かっています。最近では先輩方とランチに行くことも多く、多方面からフォローしていただけるので、不安はかなり解消されました。

メンター：一人暮らしを始めると、家族のありがたみを改めて感じるよね。今の職場が安心できる環境になっていると嬉しいです。

新人職員さんの成長について教えてください。

メンター：企画・運営といった難易度が高い業務が多い中で、スケジュールを立てて、フットワーク軽く仕事を進めるのが習慣化してきた印象です。自主的に本や資料を読んで勉強したり、日々挑戦する姿勢が素晴らしいです。

メンティー：ありがとうございます。色々な経験を積んで知見を広げようと頑張っているのも、そう言ってもらえて嬉しいです。

未来の後輩にメッセージをお願いします！

メンター：職員になったからこそ分かる墨田区の魅力がたくさんあります。一緒に働ける日を楽しみにしていますね。

メンティー：就職活動中は先が見えず、不安になることもあったと思います。ですが、努力の成果はきっと出ますので、最後まで頑張ってください！

★ICT推進担当では、多様な働き方の実現に向けた先行実証として令和5年9月から執務室をフリーアドレス化しました。

メンター
企画経営室
ICT推進担当
令和3年度入庁
(事務職)

メンティー
企画経営室
ICT推進担当
令和5年度入庁
(事務職)



新人職員 Q & A

令和5年度入庁のフレッシュな職員さんに聞いてみました。

福祉保健部 高齢者福祉課
令和5年度入庁（事務職）



今担当している仕事は？

シルバーカーや紙おむつの給付等、福祉サービスの案内や申請手続を行い、高齢者福祉の増進に携わっています。
長寿祝金事業では、100歳の方等を対象に、直接お会いしてお祝い品をお渡しします。対象の方に喜んでもらえるだけでなく、貴重なお話を聞く機会も多いので、充実感のある仕事です。

入庁前と入庁後のギャップは？

入庁前は窓口対応や事務処理等、係全体で同じ業務を行うと思っていましたが、私の係では一人ひとり担当業務が割り振られていることに驚きました。担当として提案しなければならぬ場面もありますが、不安を感じたときは先輩方にサポートしてもらえるので、安心して仕事に臨んでいます。

仕事をする上で大切にしていることは？

業務の際に疑問に感じる点はその場で解消していくことです。私自身未熟な点も多く、分からないことも多々ありますが、その都度上司や先輩方の助けも借りながら不明点を解消することで、業務の目的や問題点への理解向上が図れます。また、不測の事態への対応力も身につくと考えています。

職場の雰囲気は？

分からないことを先輩に相談すると、親身になってサポートしてくれます。また、仕事の進め方、考えるための切り口も教えてもらえるので、とても学びになります。

子ども・子育て支援部 子育て支援課
令和5年度入庁（事務職）



今担当している仕事は？

児童手当の業務を担当しています。基本的にはデスクワークがメインとなり、手当に関する電話相談や申請後の認定審査を行います。児童手当は数ある子育て支援策の中でもとりわけ受給者が多く、区民の方の状況も様々であるため、判断に迷うこともあります。ですが、そういった時こそ同僚と協力し合い、法律等を慎重に確認しつつ審査を行います。

職場の雰囲気は？

職員同士互いに助け合いの気持ちを持って仕事に打ち込んでいるため、とても働きやすい雰囲気です。最初は上手くいかないことばかりで落ち込むこともありましたが、上司をはじめ、先輩方が常に気を遣って助けてくださるおかげで日々成長を実感できています。

入庁前と入庁後のギャップは？

入庁前は公務員という仕事に「お堅い」イメージを持っていました。ですが、実際に入庁すると、職員の皆さんが明るくて優しく、区民の方のことを大切に考えて動いており、そういったところから事前にもっていた「お堅い」イメージとは異なる印象を受けました。

仕事をする上で大切にしていることは？

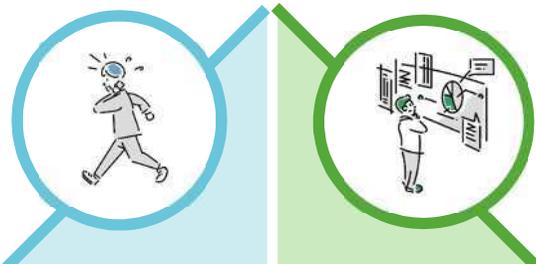
上司や同僚への報告・連絡・相談を徹底することを心がけています。報告や連絡を漏れなく行うことで、事前に誤り等を抑制することができ、仕事の経験豊富な先輩方に相談を重ねることで、私自身の成長にも繋がるからです。

墨田区の “目指すべき職員像”

区民のために”4つのワーク”を発揮して、チャレンジする職員

フットワーク

- ・現場に足を運び、社会情勢を踏まえ区政課題をしっかりと把握する
- ・区政課題を自分ごととしてスピード感を持って自ら行動する



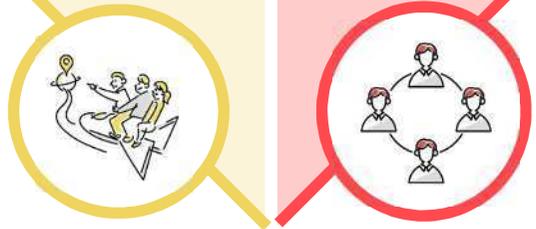
ヘッドワーク

- ・最新の情報を把握し、DXを含めて最小の経費で最大の成果を上げる
- ・前例に捉われず考え、チャレンジする
- ・簡潔で伝わる説明力を持つ



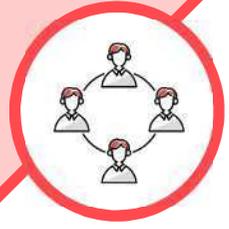
チームワーク

- ・職層や所属に関わらず区民の課題解決にフォーカスするために協力する
- ・お互いの人格や成長に気を配り、高い士気を保つために努力する



ネットワーク

- ・区民や企業と連携して「人つながるすみだ」を実現する
- ・一手間かけて丁寧な信頼関係を醸成する
- ・高い職業倫理を持つ



墨田区が誇る「江戸文化」

伝統が息づく江戸文化発祥の街である墨田区。両国周辺には、多くの相撲部屋が置かれ、ちゃんこ料理店が数多く存在し活気が溢れています。また、墨田区で生まれたと言われる浮世絵師「葛飾北斎」の作品を展示する「すみだ北斎美術館」も同地域にあります。

墨田区職員としての関わり方

例年夏に開催されている隅田川花火大会の開催に当たっては、全庁的に職員が連携し、大会運営や警備等に従事します。こうした伝統行事や文化振興について、区民の方や関係機関と協力し、企画・運営することも区職員の役割であり、大きな達成感を得ることができる魅力的な仕事の一つです。地域を大切に、人と人のふれあいを大切にする下町人情が息づくまち・墨田区には、皆さんの力が発揮できる場所がたくさんあります！



障害者の雇用及び活躍の推進

障害を有する職員が障害特性や個性に応じて能力を有効に発揮することができるよう、障害者雇用に積極的に取り組んでいます。

- ・特別区における「障害者を対象とする職員採用選考」の実施
- ・区独自の会計年度任用職員（オフィスサポーター）の採用
- ・障害者雇用推進チームの設置や障害者職業生活相談員の選任等によるサポート体制の構築 など



オフィスサポーター

自主研究グループ助成制度

区政推進に資する職員の自主的な研究グループの活動に対し、助成を行うことで、自主的活動の促進に取り組んでいます。配属された所属を超えて職員同士が共に活動できるので、活動を通じて築いた関係をきっかけに、仕事にも協力して臨むことができます。

■グループ例

- ・法務研究部
- ・すみだ魅力発掘研究会
- ・IT&DX人材への道 など

すみだ魅力発掘研究会が作成した、新人職員向けに墨田区の魅力をまとめたハンドブック →



職員住宅

本区には、区内各所に職員住宅があります。その時の部屋の空き状況によりですが、一定の要件を満たせば入居することができます。

■入居者の役割

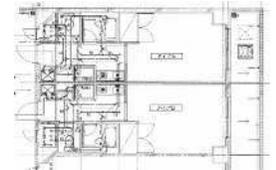
災害時の要員の確保という区の危機管理上、防災に関する一定の役割が与えられ、災害時は、初動対応から従事することとなります。また、平常時においても、年に1回実施される「総合防災訓練」や「職員災害対応訓練」等の訓練に参加するほか、無線機器操作講習会への参加、普通救急救命技能認定の資格取得等が必要となります。

■費用

賃借料及び管理費の50%に相当する額となります。（その他条件により異なります。）

■利便性

自転車通勤をする入居中の職員が多数いるほか、区内から都心へのアクセスもよく、公共交通機関の利便性は良好です。



基本データ (R5.4.1現在)

- 人口 282,085人
- 面積 13.77km²
- 予算 1,269億円（令和5年度）
- 職員数 1,813人
- 採用者数(R5.4.1付)
 - I類・Ⅱ類・経験者採用 など
 - 事務・技術・福祉・医療技術系 計65人
 - Ⅱ類採用
 - 保育士10人、歯科衛生士1人、看護師2人



Column

ロゴマークの意味



ひとつながる。墨田区

本区に暮らす・働く・訪れる、すべての人に「つながり」の温かさを魅力に感じてもらい、それを地域のカへへと変えていきたいという想いと、本区が「これから『人と人とのつながり』を大切にしながら、未来への道を歩んでいく」という決意を表しています。背景の色には、葛飾北斎が使用していた「ペロ藍」のグラデーションを採用しています。